



『自他共に尊重し、逞しい心をもって、自ら考え、行動する集団に』 ～ チーム36期 ～

受験を通して得られること、日々一生懸命に取り組むということ

先週まで季節外れの気温の高い日が続いていましたが、やっと本来の秋らしくなりました。窓を開けると心地よい風も入り、落ち着いて学習するにはもってこいの季節です。

先日の文化祭で主要な行事もほぼ終わり、2年生の皆さんはちょうど高校生活の折り返し地点を迎えたこととなります。前期には、球技大会、合唱祭、海外研修、文化祭と、それぞれの場で一致団結して盛り上がり、楽しみ、活躍する姿を見せてくれました。一人ひとりをみても、特に、普段成績が振るわずにしかめっ面をしている人が、生き生きと行事に取り組み得意分野で活躍する場面など、学校生活を楽しんでいる様子を嬉しく思いました。

さて、ここからは切り替えをして受験生としてスタートを切りましょう。いや、もう既に受験生になっているべき時期です。センター試験本番まであと450日、どう過ごしますか。ここからの日々が将来を大きく左右することは言うまでもありません。日々全力で一生懸命勉強して、目標の大学に合格、夢の実現に向かって進める人、いつまでたっても行動に移せずに受験当日を迎え、苦しい人生を選択してしまう人、この違いは何なのでしょう。

現在、36期生の皆さんの平均家庭学習時間は今までの学年の同時期とほぼ変わらず平日約一時間に止まっています。平均ですから、中には一日平均4、5時間の学習を実行している人もおり、その差がさらに大きく開いてきています。夏休み明けから明らかに変わり、とても意欲的に日々頑張っている人が増えてきているのも事実です。全国をみても、難関大学に合格した人は、今この時期、高2の秋から学習時間を急激に伸ばしていたというデータがありますから、直ちに本格的に受験生としての生活に切り替えができることが、合格の必須条件と言えます。難関大学を目指すには一日2時間でも決して多くないと思います。放課後の時間の使い方ですが、目標にむかって一生懸命取り組むならば、普通に取り組んでもっと多くの時間が十分にとれるはずですよ。

とはいえ、分かってはいても行動に移せない、生活を変えられない、学習時間の増やせない人がまだいますね。このまま変わらないままで受験直前期に突入する人さえ中にはいます。今までの実績、現実をみると容易いことではありませんが、36期生全員に、何とかして改心して、一生懸命受験勉強に取り組んで貰いたいと願います。

なぜ、勉強に向かえない人がいるのか、変わらないのか、どうしたら行動に移せるのでしょうか。

この時期になってもまだ走り出せない人は、勉強することが苦しい、つらい事だと考えてしまっていないですか。苦しいことをこれから450日間続けることは困難です。本当に勉強は辛くて大変なことなのでしょうか。苦しいもの、と決めつけているのは自分の心ではありませんか。自分で勝手にマイナスに意味づけをしていることに気づいてください。ただ毎日、一生懸命に一つのことを頑張る、を実行しているだけのことです。勉強することで出来なかった問題が出来るようになったり、成績がアップすることは、むしろ、心地良さ、喜びを感じるはずですよ。学習すること自体、知識が増え、能力が上がる楽しい時間ではないですか。ですから、苦しいと思う錯覚、勝手な思い込みを取り除いてください。精一杯頑張っていること自体に喜び、満足、達成感を感じると考えてください。苦しい、つらいといったマイナスの心の状態を、前向きな、やる気や喜びに満ちたプラスの状態に自分で心をコントロールすることが、行動に大きな影響を与えます。

また、希望の大学に合格しなかったらどうしよう、思うように成績が伸びなかったら、うまくいかなかったら、と不安になるのもナンセンスです。先のことを考えてあせりや不安におそわれて、いらいらしたり落ち込んだりしても、心がマイナスに偏るだけで、ただただ落ち着いて集中して全力を尽くす、という現実の行動の妨げになるだけです。ましてや今までやってこなかった過去のことを悔やんで落ち込んだり、もうどうしようもありません。できることは、

今日一日、今のこの時間に意識を集中して、プラスの心の状態で、精一杯全力で頑張ることだけではないですか。目標の達成、大学合格を意識するなどといったものではありません。その目標に向かうからこそ、今、に意識を集中するのです。心の状態も、歯をくいしばって苦しさに耐えて頑張れば、合格できるといったものではありません。落ち着いたプラスの心の状態で日々精一杯を実行する。そのこと自体を楽しんで、晴れやかで前向きな心で学習に取り組み続けられれば、自ずと最善の結果に導かれます。自分の心の状態に気づいて、心をコントロールすることは、日々繰り返し行っていれば自然にプラスに持っていきけるようになります。

では、それでもまだなかなか行動に移せないという心弱い人はどうしたら良いのでしょうか。日々必ず行うこととして、先ず1時間、難しければ30分でも時間と場所を決めて机に向かうことを習慣として一日の生活に組み込むことから始めましょう。今やろう、後でやろうと考えて取り組むのではなく、食事をする、お風呂に入る、などと同じように、とにかくこの時間は机に向かうと決める。先ず行動して習慣化させることです。苦手科目には特にマイナスの気持ちになってしまうという人は一番最初に苦手科目に取り組むと良いと思います。学習は取り組んだ時間だけでなく、その内容、質が大切なのですが、苦手科目には先ず時間を決めて手をつける。30分、一時間だけしかやらない、と決めてやる。プラスの心よりもマイナスの心に飲み込まれそうになったら、途中でもよいから決めた時間にやめる。その代わり毎日必ずやると決める。嫌いな科目と思うとついやらずに先送りしてしまいがちですが、その結果が何をもらたすかは考えずともわかりますね。より辛く、苦しくなって、さらには受験に失敗した自分を受け止めることになります。であれば、今この瞬間にやるかやらないかを決断しましょう。決断は一日のうち何回でも、いつでもできます。先送りして気になったままマイナスの心の状態で過ごすよりも、今、この瞬間に、やる、と決める。その習慣が身につくにつれて、やった結果の満足感、喜びを感じられ、プラスになった心を体験できるので、また次もその決断ができるようになり、うまくまわるようになります。

保護者の皆様にも、お子様の大学受験は一大事です。何がなんでも上位の大学に合格してほしい、結果がすべてとされていると思います。学年の教員も思いは同じです。何としても希望を叶えてほしい。だからこそ、本人以上にまわりが一喜一憂することなく、どっしりと構えて、上手にコミュニケーションをとり、本人が受験生活をプラスの心をもって全力で学習に取り組める環境を用意していきましょう。

学校では、後期からまたイブニングレッスンの時間が始まりました。後期の下校は17:45バスまでですが、自習や講習を受講する人は18:45の最終バスまで残ることができます。高校棟2階フロア3教室を自習専用室として開放しています。朝も自習専用教室を開放しています。8時前から始業の8:45まで自習してからホームルームに向かう、放課後部活動を終えた後に一時間自習をして学校を出るなど、ぜひ習慣化して生活の中に取り入れて貰いたいと思います。イブニングレッスンの時間には日替わりで、各教科、学力に合わせての受験対策講座、成績下位者指名補習講座を適宜開講します。GL上位グループの学力の生徒対象には週2回朝、応用演習講座を実施します。積極的に参加してください。下校時間後には、本日進路講演をお願いしました河合塾様をはじめ、夜9時、10時まで自習室を開放している予備校が近辺に多くあります。自宅ではどうしても学習に向かえない、気が散って集中できないなどの人は、この時間まで決めた場所で学習して、帰宅したら切り替えてしっかり休み翌日に備える、といった生活にすることも良いと思います。

受験勉強は、自らの生活を変え、心を整えて一つのことに精一杯取り組みぬくことです。直接の目標は大学に合格することですが、それ以上に得られる大切なものがあります。ここで鍛えられた一生懸命取り組む力は、その後の人生をも左右する大きなものだと思います。受験勉強を通して、より良い人生を歩み、切り拓く生き方を身につけて貰いたいと思います。

受験は苦しいものでもつらいものでもありません。プラスの心で精一杯を楽しみ、今、に気持ちを集中して、一つのことに日々一生懸命取り組む。それが力を最大限に伸ばし、結果、自らに多くの幸せをもたらすことに繋がります。

(宝田)

増穂祭を終えて

10月1日2日に開催された増穂祭には4,000人を超える方にご来場頂きました。2年生は去年の経験を活かして各クラス工夫して取り組むことができ、実行委員をはじめ、学校全体をリードする役割を立派に果たしました。ご来場下さいました皆様、ありがとうございました。

部門賞 【学年賞】 2組「森のゆかいな仲間達」
【CM大賞】 6組「縁日和 (ENBIYORI)」
【EAT部門大賞】 3組「はじける！ポップコーン」



カリキュラム選択

3年次の科目選択は、自分で細かく決めることができます。選択した科目は途中でやめることができません。安易に科目数を増やすと、あとで苦しむことになります。したがって、いくつかのポイントをおさえてください。

最後まで国立でがんばれるか、あきらめるとしたら、いつなのか

「あきらめるのはいつでもできる。とりあえずがんばる」という言葉は美しいですが、全く現実的ではありません。見方を変えれば「いつでもあきらめてよい」という発言を最初からしているということです。あなたは最後まであきらめないのですか。それとも成績によってあきらめることもありますか。

あきらめることがあるとするなら、いつ、どのくらいの成績ならあきらめますか。「夏にセンターで60%なら諦める」とするなら、それをとるためには、その前の模試でどのくらいの点数をとらなければ無理ですか。だとすれば、今、すでに、一ヶ月で、一週間で、このくらいなら諦める、と決めることができるはずです。

つまり、「今までやっていなかったとけれど、とりあえずやってみよう」などと思うなら、「いつまでにどのくらいになるかを目標達成シートで逆算する」ことができれば、やってみて、確認することができるでしょう。是非、高2の夏休みに「やってみた結果」であきらめるかどうか事前に考えてみてください。そして、選択するなら、最後までやりぬく、という強い決意をもって、学習にのぞみましょう。

2015年度国公立現役合格者 35名 ←科目選択で、国立型の選択をしたもの約150名

試験で使うからといってとらなければいけないわけではない

仮に自分が国公立を目指すからといって、授業選択をしなければいけないわけではありません。第一に、国立受験をするための、センター科目の場合、高校2年までで範囲が終わっているケースが多いことです。高3から0から受験科目をスタートさせるわけではありません。第二に、今までの授業と大きな変更はないということです。今まで、つまらないで放棄していたなら、その授業が急にわかりやすくなるわけではありません。あなた自身が今を受けている授業を有益に消化できないなら、授業を選択しない方がよいでしょう。第三に、センター科目は自習でも十分対応できるということです。私立・国立二次はある程度授業がベースにならないと厳しいところですが、国立センターのみの科目であれば、自学自習で取り組むこともできます。したがって、無理に選択する必要はないのです。

それでは、以下の基準を目安に自分が多く選択すべきか、それともとらない方がいいのかを考えてみてください。多くの項目がありますので、こうした判断基準から自分の科目選択を考えてみましょう。

タイプ別の選択目安

授業をつまらないと感じるか、おもしろいと感じるか

授業をつまらないと感じたり、居眠りをしたり、授業内容を軽視する傾向の人は選択しない方がよいでしょう。おもしろいと感じているなら、選択しても負担に感じることは少ないでしょう。

1人では学習ができないか、1人でも学習を進められるか

1人でも学習が進められるなら、選択するかどうかは自分の計画次第ですが、1人ではさぼりがちであるとするなら、学校であれ、予備校であれ、授業をとっておいの方が無難でしょう。

やることがあった方が楽か、自分のペースで進めたいか

課題などや、時間制限などが無いとどうしてもだらだらする、みんなの視線がある方が集中できる、自分でやると苦手やわかった気になったところを放っておく、なら、授業を選択すべきでしょう。自分のペースやリズムで、学習をすすめたいなら、選択は減らすべきでしょう。

予備校にたくさん通う予定があるか、通わないか

予備校にたくさん通う予定があるなら、学校での科目選択を増やすと、自習時間が不足します。自習とのバランスを考えると、学校の選択はやや減らしておいた方が無難でしょう。通う予定がないなら、自分なりの判断をすることができます。

国立をあきらめる選択肢があるか、浪人してでも国立を狙うか

自分の実力を考えて、現役を優先するために、途中で私立に変える選択をするかもしれないならば、とらない選択もあるでしょう。逆に、浪人してでも…というぐらい国立への思いが強ければ、多少負担になっても選択すべきでしょう。

10月末に3年次カリキュラム選択予備調査票を配布します。11月の面談を経て、12月に本調査の提出です。自分の志望をよく考えて、決定して下さい。

■芝浦推薦について

芝浦サイエンスクラスⅢの概要と選考について（2年次）

1. 概要

芝浦工業大学への進学を強く希望する生徒のうち、意欲と能力のある生徒を選抜し、芝浦工業大学への推薦入学選考において、優先的に内定を行う制度です。この制度は、高校—大学連携の一環として、高校3年次に芝浦工業大学大宮キャンパスにて週に一度の講義を受け、芝浦工業大学への推薦入学以降は学生の模範となり、意欲的に学び研究する学生となることを強く期待しています。

2. 資格

次の要件が必要です。

- ① 理系の科目選択をしており、3年次に必要な科目を履修すること。
- ② 芝浦工業大学への推薦基準を高校2年前期終了の時点で十分に満たしており、大学入学以降の活躍を期待できること。
- ③ 選考段階において、特別指導を受けていないこと。
- ④ 芝浦工業大学への入学を強く希望していること。
- ⑤ 下記の選考により推薦されること。

3. 芝浦工業大学への推薦入学

芝浦サイエンスクラスⅢへの選抜者は、3年次12月に行われる推薦入学選考において優先的な選考の権利を与えられます。ただし、次の場合は原則として優先権を失います。

- ① 大学での生活態度等で問題があった場合
- ② 大学の定期試験でD（不可）をとった場合
- ③ 本校の推薦の成績基準を下回った場合
- ④ 本校の推薦基準に照らして大きな問題があった場合

上記①②③の場合、優先的に選抜される権利を失いますが、推薦入学選考に出願し、内定選考の対象者となる

ことは可能です。④の場合は、推薦出願の資格を失うような場合を指しますので、推薦で合格することはありません。

また、優先的に選抜される権利を持つだけです。芝浦サイエンスクラスⅢに参加した生徒の希望学科が集中した場合、希望する学科に入れないことがあります。以上

芝浦工業大学推薦入学候補者の選考について（3年次）

○選考基準

生活・学業・人物のあらゆる点で本校生徒としてふさわしい者
次の条件を満たさない者は推薦されない。

I 理系を選択している者。ただし、履修した科目により、進学できる学科に制限がある。

A 数学

数学Ⅲを履修した者。ただし、システム理工学部生命科学科については3年次数学ⅡB演習履修者でも構わない。

※生命科学科生命医工学コースは数Ⅲ履修がのぞましい。

B 理科

3年次の理科の選択によって、以下の学科に出願できる。

物理・化学選択者…全ての学科に出願できる。

生物・化学選択者…応用化学科・材料工学科・生命科学科・数理科学科に出願できる。

物理選択者…応用化学科を除く全ての学科に出願できる。

化学選択者…応用化学科・材料工学科・生命科学科・数理科学科に出願できる。

生物選択者…生命科学科に出願できる。

II 全教科の3カ年の評定平均が100段階で50以上の者。

III 3年次12月の時点で欠点がない者。

IV 学校から特別指導を2回以上受けたことのない者。

V 3年次12月の時点で欠時1/10超過が1科目もない者。

次の条件を満たさない者は推薦されないことがある。推薦される場合には、その基準を大きく下回ってはならない。

VI 各学年末において、特に理由なき欠席・遅刻・早退の合計が10回を超えない者。

VII 数学・理科・英語、3カ年の評定平均の3教科平均が100段階で60以上の者。

以上

今後の予定

10月	22日(土)	中学運動会(高校授業なし)
	26日(水)・27日(木)	芝浦工業大学研究室見学(理系希望者)
	29日(土)	漢検(希望者)
11月	1日(火) 2日(水)	進研模試
	4日(金)	創立記念日(授業なし)
	7日(月)	芸術鑑賞会(歌舞伎)
	7日(月)～12日(土)	授業参観・面談週間・40分授業
	13日(日)	河合模試(希望者) *後日、申込書を配布します。
	19日(土)	数検(希望者)
	26日(土)	生徒会選挙・面談日



芝浦工業大学柏高等学校 教育課程表

教科	科目	標準単位数	第1学年	第2学年		第3学年		備考
				文系	理系	文系	理系	
国語	国語総合	4	5					演習:(文理共通)④第3学年の難関国語は現代文・古典
	国語表現	3						
	現代文A	2			2			
	現代文B	4		2		3		
	古典A	2			2			
	古典B	4		2		3		
	演習	2		2				
	演習(難関国語)	4				④	④	
	演習(現代文記述)	2				②	②	
	演習(現代文センター)	2				②	②	
地理歴史	世界史A	2	2					
	世界史B	4		3		(4)		
	日本史A	2				(4)		
	日本史B	4		(3)		(4)		
	地理A	2			2			
	地理B	4		(3)		4+3		
	演習(地理センター)	2					②	
	演習(世界史、日本史、地理)	3				(3)		
	現代社会	2	2					
	倫理	2						
公民	政治・経済	2					②	
	演習(現代社会)	2					②	
	演習(倫理・政経)	3				(3)		
	数学I	3	3					数学Ⅲと数学演習は同時選択
	数学II	4		5	4			
数学III	5					(5)		
数学A	2	3						
数学B	2			2				
数学活用	2							
数学演習	3					(3)		
演習(茶農着)	5					(5)		
演習(文系標準)	3					③		
演習(文系難関)	4					④		
理科	演習(理系難関)	2					②	
	演習(理系最難関)	2					②	
	科学と人間生活	2						第2学年文系は化学基礎のみ自由選択。 第3学年理系は2科目もしくは1科目を選択 合計8、4、2単位のいずれか。
	物理基礎	2	2					
	物理	4			(3)		(4)	
	化学基礎	2	2	①		①	(4)	
	化学	4			3		(4)	
	生物基礎	2		(2)	2	②	(2)	
	生物	4			(3)		(4)	
	地学基礎	2		(2)		②	(4)	
地学	4							
理科課題研究	1							
保健体育	演習(理科センター)	3						
	体育	7~8	3		2		2	
芸術	保健	2	1		1			
	音楽I	2	2					
	音楽II	2						
	音楽III	2						
	美術I	2	2					
	美術II	2	2					
	美術III	2						
	工芸I	2						
	工芸II	2						
	工芸III	2						
	書道I	2	2					
	書道II	2						
	書道III	2						
	外国語	コミュニケーション英語基礎	2					
コミュニケーション英語I		3	4					
コミュニケーション英語II		4		4	4			
コミュニケーション英語III		4				4	4	
英語表現I		2	2					
英語表現II		4		2	2	2	2	
英語会話		2						
演習(難関)		1				①	①	
家庭	家庭基礎	2		2	2			
	家庭総合	4						
	生活デザイン	4						
情報	社会と情報	2	2					
	情報の科学	2						
SSC	SSC I	2	②					
	SSC II	2			②			
総合的な学習の時間		3~6	1		2			
ホームルーム活動		3	1		1		1	
単位数合計			35~37	33~34	34~36	22~34	16~34	

*①②③④は自由選択、(2)(3)(4)(5)はコース別必修選択